

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1116 号	氏名	中路 俊
学位審査委員	主 査	前村 浩二	
	副 査	蒔田 直昌	
	副 査	原 哲也	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、Marfan 症候群の大動脈基部病変に対する自己弁温存大動脈基部置換術 (valve-sparing root replacement: VSR) の有効性を検証しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>Marfan 症候群の大動脈基部病変に対して、標準的術式である Bentall 手術を施行した 9 例と VSR を施行した 4 例で、早期および長期治療成績を比較検討したもので研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、Bentall 群に比較して VSR 群で手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間は有意に長かったが、早期成績に差は無かった。長期成績では、有意差は無かったものの Bentall 群で 1 例の死亡と 2 例の脳卒中を生じ、VSR 群では死亡や抗凝固関連合併症は生じず、再手術もなかった。以上の結果より Marfan 症候群の大動脈基部病変に対して VSR は Bentall 手術に代わる術式となることが示唆され、今後の心臓血管手術法進展への寄与が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は心臓血管学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			